

第3章

～県づくりの 推進方向～

1 県づくりの基本目標

「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現

人口減少・少子高齢社会にあっても、活力に満ちた産業や、にぎわいに溢れ、安心・安全で持続可能性を備えた地域社会の中で、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現を私たちは目指します。

《基本方針》 「3つの維新」のさらなる進化

産業維新、大交流維新、生活維新の「3つの維新」を「4つの視点」を踏まえて、さらなる進化を図り、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現につなげます。

〔 3つの維新 〕





さらなる進化

産業維新

大交流維新

生活維新

4つの視点

-  安心・安全
-  デジタル（未来技術）
-  グリーン（脱炭素）
-  ヒューマン
（人づくり・新たな人の流れ）



プロジェクトや重点施策を未来志向で再構築

安心で希望と活力に満ちた山口県

【4つの視点】 「安心・安全」「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」

安心・安全



「安心・安全」は、県民の生活に直結する重要なテーマであり、本県では、これまで、災害に強い県づくりや医療・介護提供体制の整備、食や消費生活の安心・安全の確保、犯罪や事故を防ぐ取組などを進めてきました。

こうした中、新型コロナウイルスの出現により、100年に1度といわれる世界的なパンデミック（感染症の世界的大流行）が起こり、私たちは、このコロナとの闘いを通じて、「命と健康を守ることが何よりも重要」であることを改めて強く認識しました。

また、今般のコロナ禍は、経済のグローバル化（世界的な結びつきの深まり）により全世界に広がったサプライチェーン^{*}に影響を及ぼし、半導体をはじめとする部品等の供給の制約が生産に滞りを生じさせるなど、生活・経済に必要不可欠な物資を安定供給することの重要性を顕在化させたところ です。

さらに、ウクライナ情勢等により、国際社会が急速に、その安定性を失いつつある中で、食料やエネルギーなど様々なリスク（危険）に対する意識が高まっており、原油や物価の高騰に適切に対応し生活を守るとともに、食料安全保障やエネルギー安全保障の強化にも努めていかなければなりません。

このため、まず、産業の分野においては、サプライチェーンの強靱化に向けて必要となる基盤整備や企業誘致を着実に進めるとともに、経済面での国際競争が激しくなる中で、経済安全保障の観点から、機微な技術・データ等を適切に保護していくことが重要となります。農林水産業については、担い手確保の取組や、生産性と持続性を両立した県産農林水産物の供給体制の強化等の取組をさらに進めていく必要があります。エネルギーについても、エネルギーの地産地消の取組をさらに推進していかなければなりません。

交流の分野においては、近年、自然災害が頻発化・激甚化しており、その備えとして、交通ネットワークの多重化など、広域的なインフラ（産業や生活の基盤）の整備を促進していくことが重要となります。

生活の分野においては、医療・介護や子育て環境の充実、食や消費生活の安心・安全の確保、災害への備えなど、幅広い対策が求められます。

医療・介護に関しては、現代社会では、開発等が進むことで人類が未知の病原体に遭遇する機会が増え、毎年のように新興感染症^{*}が出現しています。そして、人や物の移動が高速化、大量化しているため、病原体がまん延する速度が速くなっており、ひとたび感染症が出現すれば、瞬く間に世界各地に拡がり、私たちが生活していく上で大きな脅威となります。そのため、こうした新興・再興感染症^{*}の拡大等への備えを強化していかなければなりません。

さらに、人生100年時代を迎える中で、県民誰もが生涯を通じて、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、医療・介護にかかる基盤をさらに充実していくことが重要であり、とりわけ、救急・周産期、がん医療等の高度専門医療や、へき地医療の拠点として、県全体を支える中核的な医療を提供する県立総合医療センターについては、施設の老朽化・狭隘化が進行していることから、建替えを含め、抜本的な機能強化を行っていくことが必要となっています。

また、児童虐待相談対応件数が増加傾向にあるなど、困難を有する子どもへの支援の充実も重

要です。県内6か所に設置している児童相談所を中心に、児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもの社会的自立までの切れ目のない対策を強化するとともに、社会全体で子どもと子育て世帯を支える取組を進めていく必要があります。

食や消費生活の安心・安全の確保に向けては、引き続き、安心して飲食店を利用できる環境づくりや、実社会はもとよりサイバー空間^{*}も含めて、犯罪や暴力から県民を守る対策等の取組を進めていくことが重要です。

加えて、地球温暖化の進行等により、近年、県民の命や財産を脅かす自然災害が頻発化・激甚化しています。こうした災害の発生に備え、自主防災組織の活性化をはじめとする自助・共助の取組を促進するとともに、緊急輸送道路等における橋梁の耐震補強や、河川改修・ダム建設等の洪水対策、海岸保全施設の整備等を着実に進めるなど、ハード・ソフト両面の対策を進めていくことが重要です。

県が管理する公共施設も、経年による老朽化が急速に進行しており、その対策も重要な課題です。このため、離島架橋などを対象に、3次元データの作成とひずみ計・変位計による定期計測に着手するとともに、小規模橋梁を対象にAI（人工知能）による点検・診断システムを開発するなど、取組を進めており、引き続き、デジタル技術を積極的に活用し、インフラメンテナンス^{*}の高度化・効率化を推進していくことが必要です。

※サプライチェーン：原材料や部品の調達から製造、販売までの製品の全体的な流れのこと。

※新興感染症：かつて知られていなかった、新しく認識された感染症で、局地的あるいは国際的に、公衆衛生上問題となる感染症のこと。

※再興感染症：既に認知されていた感染症ではあるものの、過去に公衆衛生上の問題となるほどの流行はしなかったものや、一旦は下火になり近年再び猛威を振るいはじめた感染症のこと。

※サイバー空間：インターネットで形成された社会領域のこと。

※インフラメンテナンス：経済活動や県民生活を支える社会基盤である道路・河川・公園等の都市基盤施設や県営住宅等の公共建築物について、点検や補修等の維持管理を行うこと。

産業維新

重要物資等の安定供給やサプライチェーンの強靱化に向け、国の取組に呼応して、産業基盤の整備や企業誘致を推進するとともに、経済安全保障の観点から、技術流出防止対策を強化します。また、エネルギー安全保障の観点から、再生可能エネルギーの活用を促進し、食料安全保障の観点からは、持続性と生産性を両立した強い農林水産業の育成を進めます。

大交流維新

近年、頻発化・激甚化する自然災害に備え、交通ネットワークの多重化など、広域的な交通インフラ（産業や生活の基盤）の整備を推進します。

生活維新

コロナの経験も踏まえ、県民の命と健康を守るため、医療と福祉のさらなる充実を推進します。また、頻発化・激甚化する自然災害に備え、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策や老朽化対策を推進します。さらに、県民誰もが、これからも安心・安全に暮らしていけるよう、子どもの健やかな成長を支える環境づくりや地域に密着した安全・安心活動など、生活・暮らしの安心・安全確保に万全を尽くします。

デジタル(未来技術)

本県では、人口減少、少子高齢化の急速な進行により、地域の担い手や企業等の人材不足が深刻化するほか、中山間地域の生活機能の維持・確保において困難な状況が生じるなど、産業、雇用、交通、医療・介護、教育等、県政の様々な分野で課題に直面しており、コロナ禍とも相まって、その深刻度が増しています。

そうした中、コロナの長期にわたる流行は、社会・経済はもとより、国民の意識や行動、価値観にまで否応のない変化をもたらしており、今、我が国の社会全体がコロナとの共存を前提として、大きく変わることを求められています。

デジタルは、その社会変革を進めるための原動力であるとともに、県が抱える様々な課題を解決するための鍵となるものであり、本県の新たな未来を創っていくためにも、デジタルの持つ力を積極的に活用し、その可能性を最大限引き出していくことが極めて重要です。

このため、本県においては、デジタルの力でこれまで解決が困難であった課題を解決し、新たな価値を創造して、県民一人ひとりがこれまで以上の豊かさと幸せを実感することができる社会を築き上げていくという考えの下、令和3年度に開設したやまぐちDX^{*}推進拠点「Y-BASE」^{*}を核に県内各地域・各分野でのDX推進を支援するとともに、多様な主体が連携・協働して地域課題の解決を目指す官民連携の会員制組織「デジテック for YAMAGUCHI」^{*}を発足して、シビックテック^{*}的活動からビジネス的活動に取り組むなど、全国に先駆けた「やまぐちデジタル改革」を強力かつスピード感を持って推進しているところです。

産業の分野の課題解決に向けては、デジタル技術の活用により、企業等の生産性の向上や付加価値の創出などを図ることができます。そのため、県内企業等において、AI(人工知能)等の未来技術の導入を促進するとともに、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルやサービス等の創出を支援していくことが重要となります。

また、建設産業や農林水産業においては、デジタル化は、生産性の向上とともに、従事者の確保にも資することから、その積極的な導入を図っていく必要があります。

さらに、リモートワーク^{*}が普及したことを踏まえ、女性や若者が働きやすいデジタル関連企業やサテライトオフィス^{*}等の立地を促進することで、産業振興と同時に、県政の最重要課題である人口減少の克服につなげることが可能となります。

交流の分野においては、本県への誘客の促進に向けて、ビッグデータ^{*}を分析し、マーケティング(市場活動)に活用することでプロモーション(誘客促進活動)を効果的に実施したり、SNS^{*}等の手法を用いることで、旬の情報を届けるなど、訴求力の高い情報伝達ができるようになります。

また、インターネット上でモノやサービスを売買するイーコマース(電子商取引)の普及によって、首都圏や海外などへの新たな販路開拓の道が広がっており、中小企業の参入を支援することで、県産品の販売促進を図っていくことも重要となります。

生活の分野においては、県民の皆様により豊かで便利な暮らしを実感していただくため、行政とスタートアップ企業(新興企業)等との協働などによる地域課題の解決や、行政手続のワンストップ化等による行政サービスの利便性向上、県内全域での光ファイバ^{*}網や5G^{*}の整備による県民誰もがどこでも手軽にデジタルサービスが利用できる環境づくり等を進めていくことが必要です。

また、全国に先駆けて、全ての県立学校に整備した1人1台タブレット端末等を活用して、子どもたちの学びを深化させるとともに、新たな技術を用いて、子育てや暮らしの面での安心・安全の確保も進めていくことも重要です。

国においても、「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、デジタルインフラを急速に整備し、官民双方で地方におけるDXを積極的に推進していくことにより、地方における仕事や暮らしの向上に資する新たなサービスの創出、持続可能性の向上、Well-being（心ゆたかな暮らし）の実現等を通じてデジタル化の恩恵を国民や事業者が享受できる社会を目指すとしています。

県としては、こうした動きに即応し、これまでの取組で得られた知見等を踏まえ、「やまぐちデジタル改革」の3つの柱である、「『やまぐちDX』の創出」、「『デジタル・ガバメントやまぐち』の構築」、「『デジタル・エリアやまぐち』の形成」に沿って、取組をさらに加速し、産業や交流、生活など県政のあらゆる分野でデジタル実装を進め、本県のデジタル改革をより高いレベルに押し上げる必要があります。

- ※DX：デジタルトランスフォーメーションの略。情報通信技術の活用により人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
- ※Y-BASE：デジタル社会の実現に向け、DXに関する相談対応や技術サポート、人材育成等の機能を有した全県的なDXを推進するための拠点施設のこと。
- ※デジテック for YAMAGUCHI：デジタル技術を活用して、山口県が抱える地域課題の解決や、新たな価値の創造を持続的に行うため、2021(令和3)年6月に発足した、シビックテック的活動からビジネス的活動まで幅広く取り組む官民連携の会員制組織のこと。
- ※シビックテック：市民自らが情報通信技術等の新しい技術を活用して、地域の課題を解決しようとする考え方やその動きのこと。
- ※リモートワーク：情報通信技術を活用し、オフィスから離れた遠隔地で働く勤務形態のこと。
- ※サテライトオフィス：企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。
- ※ビッグデータ：ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。
- ※SNS：ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略で、登録された利用者同士がインターネット上で交流できる会員制サービスのこと。
- ※光ファイバ：ガラスやプラスチックの細い繊維できている、光を通す通信ケーブルのこと。信号の減衰が少なく、超長距離でのデータ通信が可能。
- ※5G：Gとは、Generation(世代)の略で、第5世代移动通信システムのこと。「超高速」「多数接続」「超低遅延」といった特徴を持つ。

産業維新

付加価値や労働生産性の向上に向けて、建設産業や農林水産業も含め、産業のあらゆる分野でデジタル化を推進し、デジタル技術を活用した生産性の向上や、新たなビジネスモデル・サービスの創出を実現します。

大交流維新

コロナ禍による社会変容を踏まえ、ビッグデータの分析に基づいた戦略的な観光プロモーションやイーコマース(電子商取引)への参入促進、地方創生テレワーク*による移住の促進など、「新たな日常」に対応した交流を促進します。

※テレワーク：情報通信技術を活用した、時間や場所に捉われない柔軟な働き方のこと。

※地方創生テレワーク：テレワークにより、地方に暮らしながら都会と同じ仕事を行う「転職なき移住」等を実現し、地方創生につなげるための取組のこと。

生活維新

デジタル技術を活用した地域課題の解決の取組を推進するとともに、医療・子育て・行政手続など、生活の様々な場面でのデジタル技術の活用を進め、より利便性の高い社会を構築します。また、サイバー空間*における安心・安全の確保に向けた取組も推進します。

※サイバー空間：インターネットで形成された社会領域のこと。

グリーン（脱炭素）

地球温暖化による気候変動は、大雨の頻度の増加や動植物の分布域の変化、農作物の品質低下、熱中症リスクの増加など、我々の生活に様々な影響を及ぼし始めています。

本県では、地球温暖化対策実行計画に基づき、これまで、温室効果ガスの排出を削減する「緩和策」と気候変動の影響を防止・低減する「適応策」を両輪とする気候変動対策を総合的かつ計画的に推進してきたところです。

2022年4月に公表された「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)の第6次評価報告書では、「これまでの各国の対策では21世紀中に温暖化が1.5℃を超える可能性が高い」との厳しい見通しも示されており、今後、地球温暖化はさらに進むと考えられます。

人類共通の課題である気候変動に対応し、将来にわたって持続可能な社会を構築していくためには、脱炭素社会の実現に向けた取組が、これまで以上に必要であり、国は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言し、その実現に向け、官民連携の下、グリーントランスフォーメーション(GX)と呼ばれる産業構造や社会経済の変革を行っていかうとしています。本県でも、企業や県民の理解と積極的な参加を得ながら、総力を挙げて、これに取り組んでいかなければなりません。

本県にはエネルギー多消費型産業が多く立地し、産業部門及びこれに関連する工業プロセス(過程)部門の温室効果ガス排出割合が全体の約7割を占め、全国の2倍と高い状況にあります。

産業の分野における脱炭素化は非常に大きな課題であり、コンビナート企業の脱炭素化をはじめ、新エネルギー・新素材を活用した新たなイノベーション^{*}創出、自動車電動化の影響を受ける地場サプライヤー(供給事業者)の事業転換や自動車のライフサイクル全体での低炭素化等の取組を促進するとともに、国際物流の結節点かつ産業拠点である港湾において、新たなエネルギー供給拠点化に向けた施設の機能高度化などを図っていく必要があります。

これらの取組にあたっては、温暖化への対応を「経済成長の制約やコスト」と一面的に捉えるのではなく、積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や社会経済の変革をもたらし、将来の大きな成長につながるという発想に立ち、産業界と取組の方向性を共有しながら、効率的・効果的にグリーン(脱炭素)化を進め、経済と環境の好循環を創り出していくことが重要となります。このため、県としても、カーボンニュートラル実現に向けた体制強化を図るとともに、広く産業分野全般を対象とした総合的な戦略を策定し、取組を進めていかなければなりません。

再生可能エネルギー等のクリーンエネルギーを導入・拡大するため、環境・エネルギー関連産業を振興することや、脱炭素社会においても選ばれる企業への成長を促進し、関連産業を集積するため、県内中小企業のグリーン化への支援やグリーン化に関連する企業誘致を進めること、森林及び木材や農地、海洋における炭素の吸収・固定を促進するため、林業の活性化や森林バイオマスの活用、有機農業、ブルーカーボン^{*}等を推進することも重要となります。

交流の分野においては、人と自然の共生を図りつつ、「持続可能な観光(サステナブルツーリズム)^{*}」を実現していくため、本県の特徴や強みを活かしたツーリズムや、「自然」や「文化」、「食」、「アクティビティ(活動)」などを効果的に融合させた、山口ならではのツーリズムの創出が重要となります。

生活の分野においては、高い省エネ水準の住宅の普及や、再造林の推進や県産木材の利用促進などによる森林資源の循環利用、徒歩や自転車利用による移動の脱炭素化など、暮らしに密着した地域脱炭素化の取組を推進することが必要です。

また、分散型エネルギー^{*}の活用やゼロカーボン・ドライブ^{**}の普及、森林資源のエネルギー利用

促進などによるエネルギーの地産地消や持続可能な社会を目指した消費・生活行動の促進等の取組を進めていくことが必要です。

加えて、デジタル技術も活用した環境教育・環境学習[※]を展開し、自発的な行動変容を促すとともに、次世代を担う人材の育成や、SNS[※]等を活用した効果的な情報発信の取組を進めていくことが必要となります。

※イノベーション：新たな技術やアイデアをもとに競争力ある製品、商品、サービス等を市場に送り出し、経済社会に大きなインパクトを与えること。

※ブルーカーボン：海洋生態系に取り込まれた炭素のこと。

※持続可能な観光（サステナブルツーリズム）：訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適切しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光のこと。

※分散型エネルギー：太陽光発電等の再生可能エネルギーや蓄電池など、比較的小規模で、地域に分散しているエネルギーのこと。

※ゼロカーボン・ドライブ：再生可能エネルギー電力と電気自動車を組み合わせて活用する取組のこと。

※環境学習：自然や環境を大切にすることを育み、環境保全やより良い環境を創造するために主体的に行動する実践的な態度や能力を育成することをめざして行われる学習のこと。

※SNS：ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略で、登録された利用者同士がインターネット上で交流できる会員制サービスのこと。

産業維新

2050年カーボンニュートラルを原動力とした本県産業の成長・発展に向け、企業や自治体等が取組の方向性を共有しつつ、本県の産業特性と産学公それぞれが持つ技術力を活かしながら、産業分野における脱炭素化の取組や脱炭素社会の実現に貢献するイノベーションの創出を促進します。

大交流維新

人と自然の共生に向け、本県の豊かな自然を活かしたツーリズムの推進など、環境にやさしい交流の仕組みづくりを進めます。

生活維新

次代につなげる持続可能な社会を実現するため、暮らしに密着した地域脱炭素化やエネルギーの地産地消など、生活の分野における脱炭素化の取組を加速します。



ヒューマン（人づくり、新たな人の流れ）

我が国は、今、これまでどこの国も経験したことのない超高齢社会の中にあり、特に、近年は、出産の大宗を占める25～39歳の女性の人口が年々、減少を続けていることに加え、コロナ禍の影響もあって、想定を上回るスピードで少子化が進んでおり、人口減少が加速しています。

さらに、経済のグローバル化（世界的な結びつきの深まり）に伴って、地球規模で競争が激化しており、目まぐるしく変化する国際情勢や日進月歩で進む技術革新など、従来の延長線上にはない、まさに激動の時代を迎えています。

本県では、これまで、県政の最重要課題である人口減少に歯止めをかけるための取組を進めるとともに、このような時代にあって、ふるさと山口に誇りと愛着を有し、高い「志」と「行動力」をもって、地域や社会の課題を自ら発見、他者と協働しながら解決し、新たな価値を創造できる人材を育成するため、「山口県新たな時代の人づくり推進方針」に基づき、取組を進めてきたところで

す。

本県の新たな未来を切り拓き、安心して希望と活力に満ちた社会を実現していくためには、全ての基である「人」を中心に据えて施策を展開することが重要となります。

まず、産業の分野においては、人材の育成・確保に向けて、高校生・大学生等の県内就職・定着支援や、リスキリング（職業能力の再開発・再教育）支援、高等産業技術学校等によるデジタル人材の育成強化など企業ニーズ（需要）に対応した職業訓練等の取組を着実に推進していくことが必要です。

また、デジタル関連企業・サテライトオフィス^{*}等の誘致を進めていくことにより、新たな雇用の場を創出し、若者や子育て世代、特に、転出超過が大きい女性の定着・移住を推進していくことも重要となります。

交流の分野においては、人々を積極的に呼び込むことが必要です。デジタル技術の進展により、地方に暮らしながら大都市で勤務を続けることが可能となり、コロナ禍を契機に、都市部住民の地方への関心が大きく高まっている中で、地方創生テレワーク^{*}とワーケーション^{*}の一体的な推進や、移住のさらなる促進を図っていくことが重要となります。

また、コロナ禍において、スポーツをはじめ、文化・芸術、県民活動など様々な分野におけるリアルでの活動が低調になり、人間関係の希薄化が懸念されています。こうした活動を通じた人と人とのつながりは、生活に張り合いや潤いをもたらすだけでなく、周囲の人にも好影響を与え、ひいては地域の活力にもつながる重要なものです。そのため、子どもや若者、高齢者や障害者など、全ての県民がリアルでの活動・交流を通じて山口で暮らすことの価値を実感し、新たな活力が生まれる場を創出していく必要があります。

生活の分野においては、少子化の流れを変える取組を強化するとともに、人口減少・少子高齢化が進む中であっても、地域の活力を創出し、本県の未来を確かなものにしていけるよう、人づくりの取組の充実を図っていくことが必要です。

このうち、まず、少子化対策としては、結婚から妊娠・出産、子育てに対する切れ目のない支援のさらなる充実を図り、子どもの健やかな成長を社会全体で後押しする取組を進めるとともに、子どもを持ちたいという方の希望が叶うよう、女性のライフイベント^{*}に応じた多様で柔軟な働き方の実現にも努めていく必要があります。

人づくりの取組も、今後、さらなる充実が必要であり、とりわけ、グローバル化やデジタル化等の進展に伴って、人々の考え方や価値観、働き方・ライフスタイルなど、社会生活のあらゆる場面で多様化が進もうとしている中で、これからの時代に求められる人材の育成を進めていくために

は、まず、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の充実を図ることが重要となります。保育者^{*}の専門性向上や乳幼児の育ちと学び支援センターの機能強化、多様性が尊重される環境づくり等の取組を通じて全国に誇れる幼児教育・保育の環境をつくることで、これを梃子に、子育て世代の移住促進につなげていくことができます。

学童期以降においては、学校と地域・社会が連携・協働して児童生徒の成長を支えていく取組等を通じて、ふるさと山口への誇りと愛着を高めるとともに、課題解決型の教育プログラムの実施やデータサイエンス教育^{*}の促進・強化等により、新たな価値を創造する力を育む取組も進めていかなければなりません。

さらに、ICT(情報通信技術)機器の効果的な活用等により、誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組を進め、子ども・若者が、それぞれの志を実現していくことができるよう、多様な学びの希望に応える学校づくりや高大連携の取組を強化していくことも必要です。

※サテライトオフィス：企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。

※テレワーク：情報通信技術を活用した、時間や場所に捉われない柔軟な働き方のこと。

※地方創生テレワーク：テレワークにより、地方に暮らしながら都会と同じ仕事を行う「転職なき移住」等を実現し、地方創生につなげるための取組のこと。

※ワーケーション：「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、業務効率の向上やイノベーションの創出とともに、観光地などで余暇の充実を図る働き方のこと。

※ライフイベント：「進学」「就職」「結婚」「出産」など、人生で起こる様々な出来事のこと。

※保育者：保育士、幼稚園教諭及び保育教諭のこと。

※データサイエンス教育：データを活用して分析や予測、あるいは意思決定ができるようにすることを旨とした教育のこと。

産業維新

本県産業の持続的な発展に向け、デジタル化等にも対応した産業人材の育成を推進します。また、魅力ある雇用の場をつくり、若者などの県内への就職・定着を推進します。

大交流維新

山口きらら博記念公園を拠点として、幅広い世代が集い、スポーツや文化・芸術、県民活動など様々な交流を通じて、県民誰もが「山口で暮らすことの価値」を実感し、新たな活力を創出・発信する取組を進めます。また、地方創生テレワークとワーケーションの一体的な推進などにより、若者を中心とする社会減の流れを断ち切り、本県への新たな人の流れを創出します。

生活維新

結婚から妊娠・出産、子育てに対する切れ目のない支援を充実・強化し、社会全体で子どもと子育て世帯を支え、少子化に歯止めをかけるとともに、本県の未来を見据え、新たな時代を担う人づくりを推進します。

【3つの維新】 「4つの視点」を踏まえ、未来志向で再構築

産業維新

山口県の強みを最大限に活かし、山口県の活力の源となる産業力を大きく伸ばします。

- ・カーボンニュートラルにも対応した瀬戸内産業の強化
- ・環境・水素等のエネルギー、医療、バイオ、航空機・宇宙、ヘルスケア、デジタルなど重点成長分野の発展・拡大
- ・港湾や幹線道路網、工業用水など産業基盤の整備、企業誘致の推進
- ・デジタル化・イノベーション創出を通じた中堅・中小企業の成長支援、スタートアップ、創業及び事業承継の支援
- ・「農林業の知と技の拠点」等を核とした強い農林水産業の育成 等

大交流維新

山口県の潜在力を発揮して、新たな人・モノの流れを創出・拡大し、山口県を活性化する大交流を実現します。

- ・山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信
- ・道路網整備など広域的な交通インフラの整備
- ・新たな観光トレンドを取り込んだ戦略的な観光力の強化
- ・大阪・関西万博等の機を捉えた魅力の発信
- ・中小企業・農林水産物等の海外展開の支援
- ・水産インフラ輸出構想の推進
- ・地方創生テレワークとワーケーションの一体的な推進による都市部からの新たな人の流れの創出や移住・関係人口の拡大 等

生活維新

県民誰もが、豊かさと幸せを感じながら、いつまでも安心して暮らし続けられる山口県の基盤を築きます。

- ・結婚から子育てまでの切れ目のない支援
- ・気候変動に対応した持続可能な社会の構築
- ・暮らしを豊かにするデジタル化の推進
- ・新たな時代に向けた人づくりの推進
- ・「やまぐちスマートスクール構想」のさらなる推進
- ・女性・高齢者・障害者等の活躍促進
- ・医療・介護提供体制の充実・強化
- ・防災・減災対策の強化
- ・暮らしの安心・安全の確保
- ・活力あるまちづくり、にぎわいの創出 等

2 目指すべき将来像

世界的にサステナビリティ（持続可能性）への意識が高まるとともに、コロナ禍を契機として、人々の価値観が大きく変化しています。

そのような中であって、コロナの危機を克服し、平穏な日常と地域のにぎわいを取り戻すことはもとより、**本県の強みを活かし、潜在力を引き出して大きく伸ばしながら、山口ならではの豊かな未来を実現していかなければなりません。**

誰もが、将来にわたって、心にゆとりを持ち、人や地域社会とつながりながら、ずっと笑顔で暮らし続けることができる未来をデザインするため、「3つの維新」のさらなる進化の先に見据える、概ね10年後の目指すべき将来像を示します。

産業維新

- 社会変革等に的確に対応し、産業力が大きく伸びています。
- 多くの魅力ある雇用の場が生まれ、若者などの県内への就職・定着が進んでいます。

社会変革への対応

脱炭素化という困難な課題に果敢に取り組むことが、本県経済の持続的な成長につながっています。産業のあらゆる分野でデジタル技術が普及し、生産性が向上するとともに、新たなビジネスモデル・サービスが生まれています。

産業基盤

大型船舶の入港等に対応可能な港湾や物流等の基盤となる幹線道路網、工業用水を安定的に供給できる体制等の整備が一層進み、充実した産業基盤を活かして、企業活動が活発に展開されています。

産業イノベーション

環境・エネルギー、医療、バイオ、デジタル分野などの関連企業の集積がさらに進み、こうした企業の持つ技術等が新しい産業の創出に繋がるなど、山口県の特性を活かした新たな産業が成長を続けています。

中堅・中小企業

創業や、新たな事業展開・販路開拓等の取組が進むとともに、企業活動を将来にわたって持続していくための優れた技能者や後継者も順調に育成されるなど、中堅・中小企業の活発な活動が展開され、地域の経済をけん引する企業への成長が進んでいます。

農林水産業

山口県産の農林水産物の需要の高まりに対応して、中核経営体の生産体制が充実し、多くの方が新規に就業し、デジタル技術も活用して匠の技が継承されるなど、農林水産業が活性化しています。

大交流維新

- 観光や交流の拡大を通じ、県全域で活力が高まっています。
- 山口の暮らしの豊かさや魅力が広く伝わり、人材の還流・移住が進んでいます。

交流

山口きらら博記念公園を拠点として、県内各地で、幅広い世代が集い、スポーツや文化・芸術、県民活動など様々な交流が活発に行われ、県民誰もが、山口で暮らすことの価値を実感するとともに、新たな活力が生まれる好循環ができています。

観光

データやデジタル技術を効果的に活用した、持続可能な観光地域づくりと戦略的な観光プロモーションの展開、スポーツの力や文化資源を活用した誘客の促進等により、歴史や自然、食、温泉など山口県の誇る様々な魅力が広く浸透し、国内外から多くの観光客が山口県を訪れています。

県産品
売り込み

県産品や県産農林水産物の魅力や県内企業の高い技術力が、デジタル技術の活用や売り込みの強化により、大都市圏や海外に広く浸透して、需要が拡大し、県内企業の生産活動や農林水産業が活性化しています。

還流・
移住促進

「やまぐち暮らし」や県内企業等の魅力が広く伝わり、県内出身者のUターンや山口ならではの豊かさや魅力を感じた方の移住が進むなど、大都市等から県内への新たな人の流れが拡大しています。

関係人口

山口県ならではの自然や文化、ゆとりや潤いのある豊かさや魅力を感じた方が、継続的に関係を持ちながら、本県の地域づくりに協力しています。

生活維新

- 結婚の希望が叶い、安心して妊娠・出産、子育てができる環境が整い、少子化の流れに歯止めがかかっています。
- 地域や人と人との絆が深まり、利便性が高い環境の中で、県民が豊かさを感じながら暮らしています。

結婚・妊娠・
出産・
子育て

社会全体で子どもや子育て家庭を支える意識が県民に広く浸透し、結婚の希望が叶えられ、安心して妊娠・出産、子育てできる環境の中で、若い世代が生き生きと子育て等に取り組み、子どもたちが健やかに成長しています。

若者・女性
の県内定着

若者や女性に魅力のある雇用の場の創出やゆとりを感じられる環境づくり等が進み、県内外の大学等から県内に就職する学生が増加するなど、若者や女性の県内定着が進んでいます。

働く環境

テレワーク等を活用した働きやすい職場づくりや、男性の育児参加等が進み、子育て期の女性をはじめ、誰もが希望に応じて働き続けることのできる環境が整っています。

脱炭素化

社会全体でカーボンニュートラルへの意識が共有され、太陽光や森林バイオマス、水力等の再生可能エネルギーや省エネ住宅の導入等が進んでいます。

環境保全

廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)や生物多様性、大気水環境などの保全等の取組が進み、山口県の豊かな自然環境がしっかりと引き継がれています。

デジタル化

県内のすみずみまで普及した光ファイバや5Gを活用して、日常生活や暮らしの安心・安全を支えるデジタルサービスや質の高い行政サービスを県民誰もがどこからでも手軽に利用できるなど、デジタル技術による豊かで利便性の高い暮らしが実現しています。

生活交通

交通空白地の移動手段確保や幹線路線の維持を図る取組等により、地域住民にとって利用しやすく、将来にわたって持続可能で効率的な地域交通が確保されています。

人づくり

充実した幼児教育・保育や、学校・家庭・地域・社会が連携した教育、ICT環境を効果的に活用した教育、多様な主体が連携した人づくりの取組等を通じて、ふるさと山口に誇りと愛着をもち、地域や社会の課題を他者と協働しながら解決し、新たな価値を創造できる人材が育っています。

社会・文化活動

県民活動が活発化し、地域の絆が深まるとともに、県民誰もが、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々の人権が尊重され、知識や経験、能力等を発揮して、就労や社会貢献活動等に参加できる環境づくりが進んでいます。

スポーツ・文化

生涯スポーツの推進や競技力の向上、新たな県民スポーツの拠点整備、文化芸術活動の振興等を通じて、県民のスポーツ・文化活動が活発に展開され、地域の活性化が進んでいます。

医療・介護・福祉

県立総合医療センターの機能強化や5G等のデジタル技術を活用した遠隔医療により、へき地においても安心して医療サービスを受けることができる環境が整い、新興感染症への備えや介護サービスの提供体制も充実しています。

健康づくり

県民の「健康づくり」への関心が高まり、健康関連データを活用しながら、バランスのよい食事や適度な運動、喫煙・飲酒等の生活習慣の見直しが進むとともに、がん検診等の受診率が向上しています。

防災・耐震化

デジタル技術も活用した、社会インフラの老朽化対策や、学校・公共施設の耐震化、地域の防災体制の整備など、県民の生命や財産を災害から守るための取組が進んでいます。

食や消費生活の安心

食の安全の確保や法令順守の取組により、県民が安心して食生活を楽しんでいます。また、消費生活における被害防止対策や相談体制が充実し、不安なく日々の生活を送っています。

暮らしの安心・安全

犯罪や交通事故から自らを守る意識の高まりやサイバー空間も含めて県民を守る様々な取組の効果により、県民が安心・安全に暮らせる快適な社会づくりが進んでいます。

地域の活性化

中山間地域において、広域的な範囲で集落機能や日常生活を支え合う「やまぐち元気生活圏」づくりが進むとともに、県下全域で多くの方が参画した地域づくり活動やにぎわいのあるまちづくりの活動が積極的に展開されています。

県政の推進に当たっては、次の3つを基本姿勢として取り組みます。

◆市町、関係団体、企業・大学等、そして県民の力の結集

行政はもとより、全ての主体が自ら行動し、お互いを支え合い、山口県の未来を共に創り上げていくことが重要です。

- 住民に身近な自治体である市町との緊密な連携
- 関係団体や企業等と協働し、それぞれが有するノウハウや強みを活かした施策を推進
- 県民一人ひとりが社会の担い手として参画する県づくりを推進

◆現場重視・成果重視・スピード重視の3つを基本

現場目線に立ち、今なすべきことに、できることからスピード感をもって対応することが重要です。

- 市町や県民の皆様との対話を通じて、現場ニーズを直接把握し、施策に反映
- 常に成果を意識した施策を展開し、成果の発信・共有に努めるとともに、より良い成果の創出に向けた不断の改善・見直しを実施

◆活力ある県づくりと強固な県政基盤の双方の実現

将来にわたって「安心で希望と活力に満ちた山口県」を創っていくためには、持続可能な行財政基盤の確立が必要不可欠なことから、効率的な行政運営や財政基盤の強化に取り組むことが重要です。

- 社会経済情勢の変化等に対応した簡素で効率的な組織体制を構築
- 選択と集中により限られた財源と人的資源を最大限有効に活用し、将来世代に過大な負担を残さない持続可能な行財政基盤を確立

